

社会保障審議会児童部会 第2回遊びのプログラム等に関する専門委員会	参考資料 1
平成27年10月2日	

事務連絡
平成27年7月8日

各都道府県児童館担当課 御中

厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課

「こどもの城」が開発又は普及に携わってきた遊びのプログラム及び地域の児童館で行われている活動プログラムの実践状況調査について（依頼）

日頃より、子ども・子育て支援施策及び児童の健全育成の推進に御尽力・御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、今般、厚生労働省では、社会保障審議会児童部会の下に「遊びのプログラム等に関する専門委員会」（以下「専門委員会」という。）を本年5月に新たに設置して、これまで実践されてきた遊びのプログラムの分析及び検証や、これからの地域の児童館等の果たすべき機能や役割などについて検討していくこととしており、その一環として、平成27年4月1日時点で設置されているすべての児童館を対象とした標記悉皆調査を行うことといたしました。

内容としましては、「1. 児童館運営主体向けの調査」「2. 利用者アンケート（保護者向け）」「3. 利用者アンケート（子ども向け（小学生以上））」の3種類であり、調査及びアンケートの回答につきましては、1は電子媒体で、2及び3は紙媒体で、それぞれ各児童館（もしくは各児童館設置市町村）から直接厚生労働省に御提出いただくこととしております。

つきましては、各都道府県の御担当者様におかれましては、児童館が設置されている市町村（指定都市、中核市を除く）の御担当者様に、当メールに添付しております事務連絡及び調査票等を電子媒体で送付いただくようお願いいたします。

また、当方において把握可能な直近の情報である、平成25年10月1日時点で児童館が設置されている市町村の御担当者様に、厚生労働省から、別途紙媒体で郵送もしております旨申し添えます。

各都道府県におかれましては、本調査が、平成23年に策定した「児童館ガイドライン」の見直しに向けた検討に資することも含め、今後の地域の児童館の機能や役割を考えていく上で必要不可欠な調査であることから、特段の御配慮をお願いいたします。

なお、本調査結果につきましては、専門委員会において分析及び検証を行い、公表することを予定しております。

（照会先）

厚生労働省雇用均等・児童家庭局
育成環境課育成支援係 安達
電話 03-5253-1111（内線 7850）

事務連絡
平成27年7月8日

各

指定都市
中核市

 児童館担当課 御中

厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課

「こどもの城」が開発又は普及に携わってきた遊びのプログラム及び地域の児童館で行われている活動プログラムの実践状況調査について（依頼）

日頃より、子ども・子育て支援施策及び児童の健全育成の推進に御尽力・御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、今般、厚生労働省では、社会保障審議会児童部会の下に「遊びのプログラム等に関する専門委員会」（以下「専門委員会」という。）を本年5月に新たに設置して、これまで実践されてきた遊びのプログラムの分析及び検証や、これからの地域の児童館等の果たすべき機能や役割などについて検討していくこととしており、その一環として、平成27年4月1日時点で設置されているすべての児童館を対象とした標記悉皆調査を行うことといたしました。

内容としましては、「1. 児童館運営主体向けの調査」「2. 利用者アンケート（保護者向け）」「3. 利用者アンケート（子ども向け（小学生以上））」の3種類であり、調査及びアンケートの回答につきましては、1は電子媒体で、2及び3は紙媒体で、それぞれ児童館もしくは貴市から厚生労働省に御提出いただくこととしております。

つきましては、各市の御担当者様におかれましては、管内の児童館の御担当者様あてに、別途当方より送付予定のメールに添付しております事務連絡及び調査票等を電子媒体で送付いただくようお願いいたします。上記2及び3のアンケート用紙につきましては、メールに添付しておりますファイルを、貴市もしくは児童館において、A4・両面で必要部数印刷していただければ幸いです（別添実施要領参照）。

また、上記2及び3を御提出いただくに当たり、当方において把握可能な直近の情報である、平成25年10月1日時点での児童館数分の返信用封筒を同封しておりますが、貴市においてとりまとめて御提出いただく等により不用となった場合には、大変お手数ではございますが御返送いただきますようお願いいたします。設置児童館の増加等により返信用封筒が不足する場合は、下記照会先まで御連絡ください。

各市におかれましては、本調査が、平成23年に策定した「児童館ガイドライン」の見直しに向けた検討に資することも含め、今後の地域の児童館の機能や役割を考えていく上で必要不可欠な調査であることから、特段の御配慮をお願いいたします。

なお、本調査結果につきましては、専門委員会において分析及び検証を行い、公表することを予定しております。

（照会先）

厚生労働省雇用均等・児童家庭局
育成環境課育成支援係 安達
電話 03-5253-1111（内線7850）

事務連絡
平成27年7月8日

各市町村児童館担当課 御中

厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課

「こどもの城」が開発又は普及に携わってきた遊びのプログラム及び
地域の児童館で行われている活動プログラムの実践状況調査について（依頼）

日頃より、子ども・子育て支援施策及び児童の健全育成の推進に御尽力・御協力を賜り、
厚く御礼を申し上げます。

さて、今般、厚生労働省では、社会保障審議会児童部会の下に「遊びのプログラム等に
関する専門委員会」（以下「専門委員会」という。）を本年5月に新たに設置して、これま
で実践されてきた遊びのプログラムの分析及び検証や、これからの地域の児童館等の果た
すべき機能や役割などについて検討していくこととしており、その一環として、平成27
年4月1日時点で設置されているすべての児童館を対象とした標記悉皆調査を行うことと
いたしました。

内容としましては、「1. 児童館運営主体向けの調査」「2. 利用者アンケート（保護者
向け）」「3. 利用者アンケート（子ども向け（小学生以上）」の3種類であり、調査及び
アンケートの回答につきましては、1は電子媒体で、2及び3は紙媒体で、それぞれ各児
童館もしくは貴市町村から厚生労働省に御提出いただくこととしております。

つきましては、各都道府県の御担当者様に、管内市町村用の事務連絡及び調査票等を電
子媒体で御担当者様あて送付いただくよう別途お願いしておりますので、各市町村の御担
当者様におかれましては、管内の児童館の御担当者様あてに、都道府県経由で送付された
メールに添付しております事務連絡及び調査票等を電子媒体で送付いただきますようお願い
いたします。上記2及び3のアンケート用紙につきましては、メールに添付してござい
ますファイルを、貴市町村もしくは児童館において、A4・両面で必要部数印刷していただ
ければ幸いです（別添実施要領参照）。

また、上記2及び3を御提出いただくに当たり、当方において把握可能な直近の情報で
ある、平成25年10月1日時点での児童館数分の返信用封筒を同封しておりますが、貴
市町村においてとりまとめて御提出いただく等により不用となった場合には、大変お手数
ではございますが御返送いただきますようお願いいたします。設置児童館の増加等により
返信用封筒が不足する場合は、下記照会先まで御連絡ください。

各市町村におかれましては、本調査が、平成23年に策定された「児童館ガイドライン」
の見直しに向けた検討に資することも含め、今後の地域の児童館の機能や役割を考
えていく上で必要不可欠な調査であることから、特段の御配慮をお願いいたします。

なお、本調査結果につきましては、専門委員会において分析及び検証を行い、公表する
ことを予定しております。

（照会先）

厚生労働省雇用均等・児童家庭局
育成環境課育成支援係 安達
電話 03-5253-1111（内線 7850）

事務連絡
平成27年7月8日

各児童館ご担当 御中

厚生労働省雇用均等・児童家庭局育成環境課

「こどもの城」が開発又は普及に携わってきた遊びのプログラム及び地域の児童館で行われている活動プログラムの実践状況調査について（依頼）

日頃より、子ども・子育て支援施策及び児童の健全育成の推進に御尽力・御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、今般、厚生労働省では、社会保障審議会児童部会の下に「遊びのプログラム等に関する専門委員会」（以下「専門委員会」という。）を本年5月に新たに設置して、これまで実践されてきた遊びのプログラムの分析及び検証や、これからの地域の児童館等の果たすべき機能や役割などについて検討していくこととしており、その一環として、平成27年4月1日時点で設置されているすべての児童館を対象とした標記悉皆調査を行うことといたしました。

内容としましては、「1. 児童館運営主体向けの調査」「2. 利用者アンケート（保護者向け）」「3. 利用者アンケート（子ども向け（小学生以上））」の3種類であり、調査及びアンケートの回答につきましては、1は電子媒体で、2及び3は紙媒体で、それぞれ各児童館もしくは各市町村から厚生労働省に御提出いただくこととしております。

つきましては、各市町村の御担当者様に、管内児童館用の事務連絡及び調査票等を電子媒体で御担当者様あて送付いただくよう別途お願いしておりますので、各児童館の御担当者様におかれましては、市町村経由で送付されたメールに添付しております調査票及び利用者アンケートにつきまして、実施要領及び記入要領を御確認いただき、調査票への入力及びアンケートを実施の上、御提出いただきますようお願いいたします。

上記2及び3のアンケート用紙につきましては、メールに添付しておりますファイルを、市町村と調整いただき、A4・両面で必要部数印刷していただければ幸いです（別添実施要領参照）。

各児童館におかれましては、本調査が、平成23年に策定された「児童館ガイドライン」の見直しに向けた検討に資することも含め、今後の地域の児童館の機能や役割を考えていく上で必要不可欠な調査であることから、御協力をお願いいたします。

なお、本調査結果につきましては、専門委員会において分析及び検証を行い、公表することを予定しております。

(照会先)

厚生労働省雇用均等・児童家庭局
育成環境課育成支援係 安達
電話 03-5253-1111 (内線 7850)

(別添)

『こどもの城』が開発又は普及に携わってきた遊びのプログラム及び地域の児童館で行われている活動プログラムの実践状況調査」実施要領

I. 調査目的

昭和60年に国が設置した「こどもの城」は、平成27年3月末をもって完全閉館しましたが、これまで、伝承遊びや先駆的な遊びのプログラム(約500種類)の開発や普及に携わり、来館した子どもたちに提供するほか、全国の児童館等にそのノウハウなどの情報提供を行い、地域の子どもの健全な育成に資する取組を進めてきたところです。

こうした約30年にわたり蓄積されてきた遊びのプログラムや「こどもの城」が果たしてきた機能及び役割については、今後も国が引き継ぎ、社会保障審議会児童部会の下に「遊びのプログラム等に関する専門委員会」(以下「専門委員会」という。)を新たに設置し、関係団体や地域の児童館等の協力を得て、その機能を継承することとしているところです。

このため、今般、「こどもの城」が果たしてきた機能及び役割を国が継承するに当たり、遊びのプログラムが全国的にどの程度普及し、活用が図られてきたのかなどの実践状況の調査及び把握が必要なことから、その一環として調査を行うものです。

具体的には、「こどもの城」が展開してきたプログラムや地域の児童館で行われている独自の活動プログラムについて、その取組状況や子どもたちへの影響等について把握を行い、分析及び検証を行うことにより、好実践事例の普及啓発を図るとともに、時代の要請に対応した遊びのプログラムの改定や開発に向けた検討及び今後の地域の児童館の機能や役割の検討に資することを目的として実施するものです。

なお、本調査結果については、専門委員会において分析及び検証を行い、公表することを予定しております。

II. 調査対象

児童福祉法第40条に基づき、平成27年4月1日現在で設置されている全児童館(小型児童館、児童センター及び大型児童館等)

III. 調査票等の種類

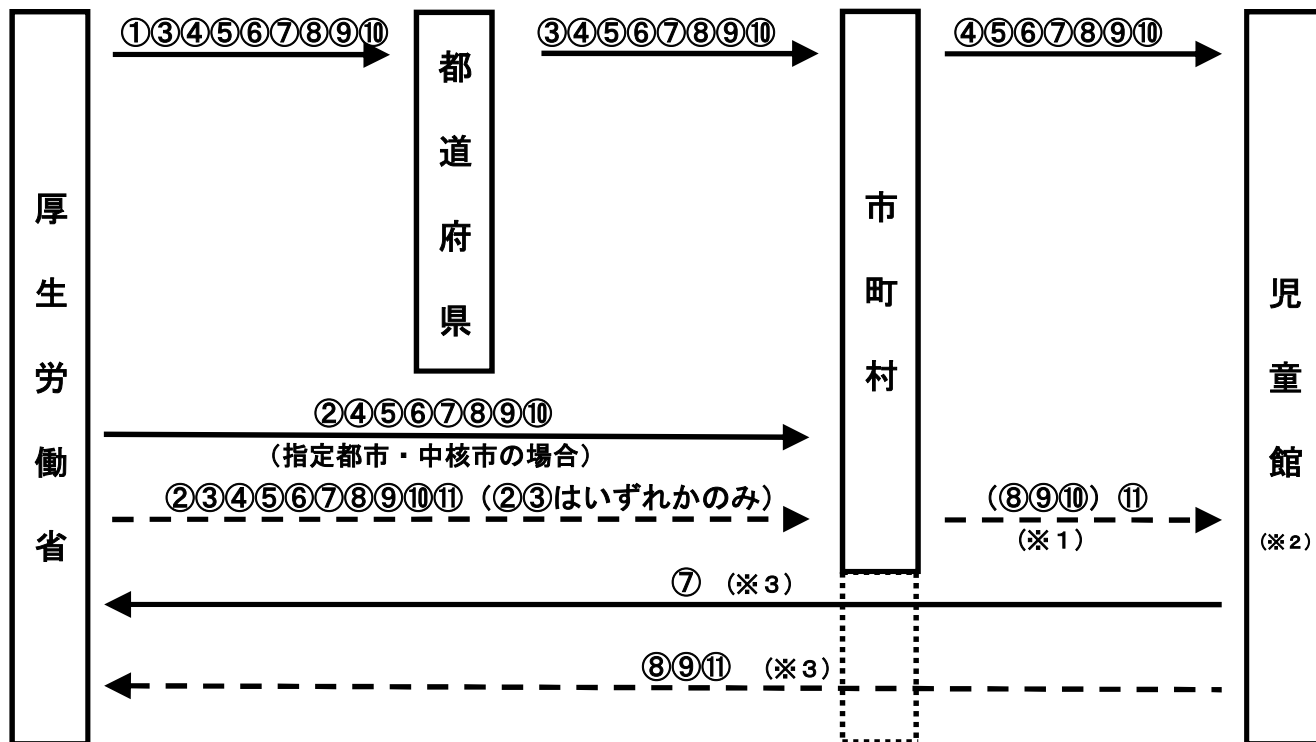
- ①都道府県あて事務連絡
- ②指定都市、中核市あて事務連絡
- ③市町村(指定都市、中核市を除く)あて事務連絡
- ④児童館あて事務連絡
- ⑤(別添)『こどもの城』が開発又は普及に携わってきた遊びのプログラム及び地域の児童館で行われている活動プログラムの実践状況調査実施要領
- ⑥実践状況質問票(児童館運営主体用)
- ⑦実践状況調査票(児童館運営主体用)
- ⑧児童館利用に関するアンケート(保護者用)
- ⑨児童館利用に関するアンケート(子ども用(小学生以上))
- ⑩「児童館利用に関するアンケート」ご協力をお願い
- ⑪返信用封筒

IV. 調査票等の送付及び提出方法

(1) 送付及び提出方法

○ 調査票等の送付及び提出方法は以下のとおりです。

電子媒体（メール） →
紙媒体（郵送） - - - →



(※1) ⑧及び⑨のアンケート用紙につきましては、別途お送りしているメールに添付されているファイルを、市町村もしくは児童館において、A4・両面で必要部数(※2参照)印刷していただければ幸いです。なお、必要部数が多く印刷が困難等不都合がある場合は、VIの問い合わせ先までご連絡ください。

また、⑧と⑨とで別の色の紙で印刷していただく等、区別しやすくする方法もありますので、参考までに申し添えます。

(※2) 各児童館におかれましては、以下の回答数を最少回答数とし、アンケート実施をお願いいたします。

小型児童館：保護者、子ども 各10

小型児童館以外：保護者、子ども 各20

また、アンケート実施の趣旨にご理解、ご協力いただくため、⑩を参考として作成しましたので、ご活用ください。

なお、アンケートの配付及び回収に当たりましては、利用者のプライバシーに十分配慮いただきますよう、お願いいたします。

(※3) ⑦、⑧及び⑨の調査票等につきましては、児童館から直接厚生労働省あて提出していただくことを前提としておりますが、各市町村においてとりまとめて提出していただくことを妨げるものではありませんので、状況に応じて市町村において調整いただければ幸いです。

(2) 提出先

- 上記⑦については、電子媒体を、下記アドレスまでメールにてご提出願います。
asobisenmon@mhlw.go.jp

- 上記⑧及び⑨については、返信用封筒に貴児童館名及び所在地（住所）を明記の上、下記提出先まで郵送にてご提出願います。
〒100-8916
東京都千代田区霞が関1-2-2
厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 育成環境課

V. 調査票等提出期限

平成27年7月31日（金）

VI. 本調査に関する問い合わせ先

厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 育成環境課 (担当) 安達
電話：03-5253-1111（内線7850）

<調査票等記入要領>

調査票等の記入に当たっては、以下の点にご留意ください。

<②実践状況調査票（児童館運営主体用）について>

- ①実践状況質問票（児童館運営主体用）をご覧ください、回答は、②実践状況調査票（児童館運営主体用）への入力をお願いいたします。
- 児童館における現状をより具体的にお答えいただくために、運営の主体となっている団体等の職員が記入してください。（委託等により契約内容が統一である場合においても、市区町村の職員ではなく、委託先等の職員がご記入いただきますようお願いいたします。）
- 特に指定のあるものを除き、最近5年程度の間実施した内容を記載してください。
- プログラムとして体系化されているものにかかわらず、貴児童館で実施されている活動全般についてご回答ください。
- 問B-1は、「こどもの城」が開発又は普及に携わってきたプログラムについて、貴児童館における実践状況をご回答いただくものです。
各項目は、「こどもの城」が開発又は普及に携わってきたプログラムを元に作成しています。ご回答いただくに当たり、以下のURL（厚生労働省HP内）から内容をご覧ください。

【健全育成のための活動プログラム】

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/kosodate/katsudou_program/index.html

<③児童館利用に関するアンケート（保護者用）及び④児童館利用に関するアンケート（子ども用（小学生以上））について>

- 利用者の声をより具体的に把握するために、放課後児童クラブを併設している児童館等におかれましては、放課後児童クラブ登録児童等に限らず、一般来館児童等に対してもアンケートを行うようお願いいたします。

<問A-4で「2. 児童センター」を選択した場合>

<必置のもの>

1. 集会室 2. 遊戯室 3. 図書室 4. 事務執行に必要な設備（ ）

<任意のもの>

1. 相談室 2. 創作活動室 3. 静養室 4. 児童クラブ室 5. 乳幼児室
 6. 子育てひろば室 7. スタジオ（音楽室） 8. アトリエ 9. トレーニング室
 10. 小ホール 11. 映画等ライブラリー
 12. 喫茶室等年長児童を育成するための設備（ ）
 13. 社会参加活動の拠点として活用するための設備（ ）
 14. その他（ ）

<問A-4で「3. 大型児童館（A型児童館）」を選択した場合>

<必置のもの>

1. 集会室 2. 遊戯室 3. 図書室 4. 事務執行に必要な設備（ ）

<任意のもの>

1. 相談室 2. 創作活動室 3. 静養室 4. 児童クラブ室 5. 乳幼児室
 6. 子育てひろば室 7. スタジオ（音楽室） 8. アトリエ 9. トレーニング室
 10. 小ホール 11. 映画等ライブラリー
 12. 喫茶室等年長児童を育成するための設備（ ）
 13. 社会参加活動の拠点として活用するための設備（ ）
 14. 研修室 15. 展示室 16. 多目的ホール 17. ギャラリー
 18. 移動型児童館用車両 19. 屋内プール 20. コンピュータールーム
 21. 歴史・科学資料展示室 22. 宿泊研修室 23. 児童遊園
 24. その他（ ）

<問A-4で「4. 大型児童館（B型児童館）」を選択した場合>

<必置のもの>

1. 集会室 2. 遊戯室 3. 図書室 4. 事務執行に必要な設備（ ）
 5. 宿泊設備 6. 障害のある児童の利用にも資する設備（ ）
 7. 宿泊室 8. 食堂・厨房 9. 脱衣・浴室
 10. キャンプ等の野外活動ができる設備

<任意のもの>

1. 相談室 2. 創作活動室 3. 静養室 4. 児童クラブ室
 5. 移動型児童館用車両 6. その他（ ）

問A-7 貴児童館の平成26年度における職員数について回答してください。

全職員数

_____人（うち常勤：_____人）

うち、児童の遊びを指導する者（児童厚生員）

_____人（うち常勤：_____人）

また、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準（昭和23年厚生省令第63号）第38条に規定されている区分ごとの人数について回答してください。

- ①1号_____人 ②2号_____人 ③3号_____人 ④4号_____人
 ⑤5号_____人 ⑥6号イ_____人 ⑦6号ロ_____人
 ⑧6号ハ_____人 ⑨6号ニ_____人

（参照条文）

第三十八条 児童厚生施設には、児童の遊びを指導する者を置かなければならない。

2 児童の遊びを指導する者は、次の各号のいずれかに該当する者でなければならない。

- 一 都道府県知事の指定する児童福祉施設の職員を養成する学校その他の養成施設を卒業した者
- 二 保育士の資格を有する者
- 三 社会福祉士の資格を有する者
- 四 学校教育法の規定による高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者、同法第九十条第二項の規定により大学への入学を認められた者若しくは通常の課程による十二年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は文部科学大臣がこれと同等以上の資格を有すると認定した者であつて、二年以上児童福祉事業に従事したもの
- 五 学校教育法の規定により、幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は中等教育学校の教諭となる資格を有する者
- 六 次のいずれかに該当する者であつて、児童厚生施設の設置者（地方公共団体以外の者が設置する児童厚生施設にあつては、都道府県知事）が適当と認めたもの
 - イ 学校教育法の規定による大学において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者
 - ロ 学校教育法の規定による大学において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専修する学科又はこれらに相当する課程において優秀な成績で単位を修得したことにより、同法第一百零二条第二項の規定により大学院への入学が認められた者
 - ハ 学校教育法の規定による大学院において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専攻する研究科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者
 - ニ 外国の大学において、社会福祉学、心理学、教育学、社会学、芸術学若しくは体育学を専修する学科又はこれらに相当する課程を修めて卒業した者

問A-8 貴児童館の平成26年度における延来館者数について回答してください。

_____人

また、以下の区分ごとの人数について回答してください。

- ①乳幼児_____人
 ②小学生_____人（1年～3年_____人、4年～6年_____人）
 ③中学生_____人 ④高校生_____人
 ⑤大人（18歳以上）_____人（保護者_____人、ボランティア_____人、
 地域住民_____人）

B. 貴児童館におけるプログラムの実践状況についてうかがいます。

※ 問B-1は、「こどもの城」が開発又は普及に携わってきたプログラムについて、貴児童館における実践状況をご回答いただくものです。

各項目は、「こどもの城」が開発または普及に携わってきたプログラムを元に作成しています。ご回答いただくに当たり、以下のURL（厚生労働省HP内）から内容をご覧ください。

【健全育成のための活動プログラム】

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kodomo/kodomo_kosodate/kosodate/katsudou_program/index.html

問B-1 上記サイトに掲載されているプログラムの中で、貴児童館において実践しているプログラムについて、次のうちから回答してください。（複数回答可）

1. 運動遊び
2. 造形遊び
3. 音楽遊び
4. 映像・科学遊び
5. 児童文化・ゲーム遊び
6. 交流・仲間づくり
7. 親子遊び・子育て支援（1～6でお答えいただいたもの以外で）

（参考）掲載プログラム ※プログラムの詳細につきましては、上記サイトよりご確認ください。

○運動遊び

1. 年齢に応じた運動遊び
2. <身体能力>を高める運動遊び
3. <筋力>を鍛える遊び
4. <柔軟性>を身につける遊び
5. <瞬発力>をみがく遊び
6. <バランス>を身につける遊び
7. ドッチビー
8. いろいろな「おにごっこ」
9. リボンを使って…作ってあそぼう！

○造形遊び

1. 造形スタジオの造形遊び
2. 紙と造形「マペット」
3. 竹と造形「竹のぼり」
4. <うつつ>テーマに「糸はなが」
5. 木と造形「くっつけむし」
6. 音と造形「ポンドだいこ」
7. 光と造形「光のチューブ」
8. 作って遊ぶ”紙”の造形「パクパクしまい」
9. 作って遊ぶ”動く”の造形「オニ車」
10. 作って遊ぶ”変身”の造形「コイかぶり」
11. みんなで作る造形「インディアンドン」
12. つくって飾る”紙”の造形「クラフトハット」
13. つくって遊ぶ”動く”の造形「クルくるーん」
14. つないで作る”紙”の造形「つないで道」
15. 作って飛ばす”七夕”の造形「七夕シューティングスター」
16. 感覚遊びから版画の造形「版魚」
17. 縫って作る”布”の造形「スケテラー」

○音楽遊び

1. 家族で遊ぼう「まるとまる」
2. みんなで遊ぶ「家族のWA」
3. 身近な道具で演奏「スプーン・カスタネット」
4. 手作り楽器で遊ぶ「回す鳥笛」「カズーラッパ」
5. 全身で音楽楽しむダンス遊び
6. パネルシアターで音楽遊び
7. 楽器音あてクイズ
8. サンバ新聞
9. がらくた楽器やってみよう
10. たいこをならそう

○映像・科学遊び

1. みんなで楽しく上映会
2. <映像>でコミュニケーション
3. 映像遊びでくるくるアニメ
4. 視覚の実験ソーモトロープ
5. 円盤型アニメおもちゃ驚き版
6. 対数の原理で遊ぶ計算尺
7. 針穴で映像が映るピンホールカメラ

○児童文化・ゲーム遊び

1. “まなび”の場ハンズオン広場
2. こどもの城アドベンチャー
3. チャレンジゲーム大会
4. つくってあそぼう!!!
5. みんなで遊ぼう!パペットランド
6. 遊びで楽しむ季節の行事
7. みてこ!よってこ!てくてこパーク

○交流・仲間づくり

1. 仲間と遊ぶ
2. 児童館のふれあい遊び
3. 忍者マスター決定戦
4. 「L.I.T.」高校生世代のボランティア
5. 家族のためのファミリープレイタイム

○親子遊び・子育て支援

1. 子育てひろば
2. 親子あそびの簡単レシピ
3. 親子で遊ぼう
4. 身近なものを使って遊ぼう
5. おやつ作り
6. 家庭とともにすすめる食育

問B-2 問B-1のプログラムについて、貴児童館において実践するに至った経緯を次のうちから回答してください。また、7を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

1. 「こどもの城」(公益財団法人児童育成協会)が主催した研修会、講習会等で学んだプログラムだったため
2. 「動くこどもの城」(※)が派遣され実施したプログラムだったため
(※)「動くこどもの城」とは、「こどもの城」で研究・開発・実践してきたプログラムを各地の児童館などで実施するとともに、そのプログラムの背景にある理念や考え方を児童厚生員などに紹介していくものです。
3. 「こどもの城」発行の活動事例集(遊びのプログラム)やDVDで取り上げられているプログラムだったため
4. 利用者からの要望があったため
5. 他児童館で実施しており、効果的なプログラムであると感じたため
6. 先駆的なプログラムとして取り入れようと考えたため
7. その他 ()

問B-3 問B-1に掲載しているプログラム以外で、貴児童館において実践しているプログラム(問B-1に掲載している1~7のプログラムの他、表現活動や地域での活動なども含む。)があれば教えてください。(複数ある場合は、プログラムごとに記載してください。)

ア. プログラム名

イ. 実践するに至った経緯を、次のうちから回答してください。また、4を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

1. 利用者からの要望があったため
2. 他児童館で実施しており、効果的なプログラムであると感じたため
3. 先駆的なプログラムとして取り入れようと考えたため
4. その他 ()

ウ. プログラムの具体的な内容を記載してください。(※利用者向けのパンフレット等があれば、あわせてご提出ください。)

問B-4 貴児童館において、障害のある児童などが参加しやすいよう配慮しているプログラムがあれば教えてください。

ア. プログラム名

イ. プログラムの具体的な内容を記載してください。（※利用者向けのパンフレット等があれば、あわせてご提出ください。）

問B-5 貴児童館において実践しているプログラムのうち、利用者から好評なプログラム上位3つを教えてください。（※利用者向けのパンフレット等があれば、あわせてご提出ください。）

<プログラム名>

<具体的内容>

<プログラム名>

<具体的内容>

<プログラム名>

<具体的内容>

C. 貴児童館で実践している上記プログラムの効果についてうかがいます。

問B-1 のプログラムについてご回答ください。

問C-1 問B-1のプログラムを実践した際の効果についておたずねします。（複数ある場合は、プログラムごとに回答してください。）

<効果的だったプログラムについて>

ア. 効果的だったと考えられるプログラム名を記載してください。

イ. 利用者（子ども又は保護者）の反応はどのようなものでしたか。次のうちから回答してください。また、5を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

1. 自発的にプログラムに参加していた
2. 楽しみながら、真剣に取り組んでいる様子であった
3. プログラム終了後も、自らすすんでそのプログラムを実践していた
4. また参加したいとの声があった
5. その他（)

エ. 効果が得られなかった要因を次のうちから回答してください。また、4を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

1. 子どもに受け入れられにくかったため
2. プログラムが再現しにくかったため
3. プログラムに柔軟性がなかったため
4. その他（ ）

問B-3 のプログラムについてご回答ください。

問C-2 問B-3のプログラムを実践した際の効果についておたずねします。（複数ある場合は、プログラムごとに回答してください。）

<効果的だったプログラムについて>

ア. 効果的だったと考えられるプログラム名を記載してください。

--

イ. 利用者（子ども又は保護者）の反応はどのようなものでしたか。次のうちから回答してください。また、5を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

1. 自発的にプログラムに参加していた
2. 楽しみながら、真剣に取り組んでいる様子であった
3. プログラム終了後も、自らすすんでそのプログラムを実践していた
4. また参加したいとの声があった
5. その他（ ）

ウ. 効果的だったと考えた理由を次のうちから回答してください。（複数回答可）また、3もしくは11を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

1. 参加者同士の交流が図られた
2. 年齢等に関係なく全員が楽しめた
3. 利用者の違った一面が発見できた（ ）
4. プログラム参加者が増加し、定着した
5. 子どもがプログラムや行事等に積極的に参加するようになった
6. 子どもが日常生活において基本的なルールを守れるようになった
7. 子どもが困っている仲間に手を差し伸べられるようになった
8. 職員と子どもとの日常的な会話が増えた
9. 指導者の育成に役立った
10. ボランティアの活用や養成につながった
11. その他（ ）

エ. 効果が得られた要因を次のうちから回答してください。また、4を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

1. 子どもに受け入れられやすかったため
2. プログラムが再現しやすかったため
3. プログラムに柔軟性があったため
4. その他（ ）

問D-2 問D-1において「1. 有」とお答えいただいた場合、その理由を次のうちから回答してください。また、5を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

1. プログラムを充実したことにより、これまで利用が少なかった年代の利用が増加した
2. プログラムの実施を恒常的に行うようになった
3. 利用者が増加したことにより、予算が増額され、人員や設備の充実が図られた
4. 職員の志気が高まり、一体感が強くなった
5. その他（ ）

問D-3 問D-1において「2. 無」とお答えいただいた場合、その理由を次のうちから回答してください。また、5を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

1. プログラムを充実したが、利用する年代の広がりがみられなかった
2. プログラムの実施頻度に変化がみられなかった
3. 利用者が増加したが、予算の増額、人員や設備の充実は図られなかった
4. 職員の意識に変化がみられなかった
5. その他（ ）

問D-4 問B-1のプログラム実施が、児童館とその地域との関係に与えた影響はありますか。次のうちから回答してください。

1. 有
2. 無

問D-5 問D-4において「1. 有」とお答えいただいた場合、その理由を次のうちから回答してください。また、5を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

1. 地域の関係機関との連携がより図られた
2. 地域での認知度が高まり、児童館に関心をもつ地域住民が増加した
3. 地域の行事に積極的に参加するなど、重要な役割を担うようになった
4. ボランティアの参加が増加した
5. その他（ ）

問D-6 問D-4において「2. 無」とお答えいただいた場合、その理由を次のうちから回答してください。また、5を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

1. 地域の関係機関との関係に特に変化はみられなかった
2. 地域における児童館への地域住民の関心の度合いに特に変化はみられなかった
3. 地域の中での役割に特に変化はみられなかった
4. ボランティアの参加に特に変化はみられなかった
5. その他（ ）

問B-3 のプログラムについてご回答ください。

問D-7 問B-3のプログラム実施が、児童館の運営自体に与えた影響はありますか。次のうちから回答してください。

1. 有
2. 無

問D-8 問D-7において「1. 有」とお答えいただいた場合、その理由を次のうちから回答してください。また、5を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

1. プログラムを充実したことにより、これまで利用が少なかった年代の利用が増加した
2. プログラムの実施を恒常的に行うようになった
3. 利用者が増加したことにより、予算が増額され、人員や設備の充実が図られた
4. 職員の志気が高まり、一体感が強くなった
5. その他（ ）

問D-9 問D-7において「2. 無」とお答えいただいた場合、その理由を次のうちから回答してください。また、5を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

1. プログラムを充実したが、利用する年代の広がりがみられなかった
2. プログラムの実施頻度に変化がみられなかった
3. 利用者が増加したが、予算の増額、人員や設備の充実は図られなかった
4. 職員の意識に変化がみられなかった
5. その他（ ）

問D-10 問B-3のプログラム実施が、児童館とその地域との関係に与えた影響はありますか。次のうちから回答してください。

1. 有
2. 無

問D-11 問D-10において「1. 有」とお答えいただいた場合、その理由を次のうちから回答してください。また、5を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

1. 地域の関係機関との連携がより図られた
2. 地域での認知度が高まり、児童館に関心をもつ地域住民が増加した
3. 地域の行事に積極的に参加するなど、重要な役割を担うようになった
4. ボランティアの参加が増加した
5. その他（ ）

問D-12 問D-10において「2. 無」とお答えいただいた場合、その理由を次のうちから回答してください。また、5を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

1. 地域の関係機関との関係に特に変化はみられなかった
2. 地域における児童館への地域住民の関心の度合いに特に変化はみられなかった
3. 地域の中での役割に特に変化はみられなかった
4. ボランティアの参加に特に変化はみられなかった
5. その他（ ）

E. プログラム実施における課題等についてうかがいます。

問E-1 問B-1及び問B-3のプログラムを実施していく上で、何が一番重要だと思いますか。次のうちから回答してください。また、7を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

- | | | | |
|--------|-------|---------|------------|
| 1. 予算 | 2. 設備 | 3. 人員 | 4. アイデア・発想 |
| 5. 指導力 | 6. 経験 | 7. その他（ | ） |

問E-2 今後、プログラムを充実させていくには、何が一番重要だと思いますか。次のうちから回答してください。また、7を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

- | | | | |
|--------|-------|---------|------------|
| 1. 予算 | 2. 設備 | 3. 人員 | 4. アイデア・発想 |
| 5. 指導力 | 6. 経験 | 7. その他（ | ） |

問E-3 今後、新たなプログラムを導入する予定はありますか。次のうちから回答してください。（平成27年度に新たに導入されたプログラムがある場合には、それも含めて回答してください）。

- | | |
|------|------|
| 1. 有 | 2. 無 |
|------|------|

問E-4 問E-3において「1. 有」とお答えいただいた場合についておうかがいします。
ア. それはどのようなプログラムですか。回答番号欄に具体的に記載してください。

--

イ. なぜそのプログラムを導入しようと考えたのですか。その理由を次のうちから回答してください。また、5を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 「動くこどもの城」が派遣され実施したプログラムだったため |
| 2. 利用者からの要望があったため |
| 3. 他児童館で実施しており、効果的なプログラムであると感じたため |
| 4. 先駆的なプログラムとして取り入れようと考えたため |
| 5. その他（ |
| ） |

問E-5 問E-3において「2. 無」とお答えいただいた場合について、その理由を次のうちから回答してください。また、5を選択した場合には、回答番号欄に具体的に記載してください。

- | |
|--|
| 1. 導入したいが予算が不足している |
| 2. 導入したいが設備が不足している |
| 3. 導入したいが人員が不足している |
| 4. 必要と思われるプログラムについてはすでに導入されており、新たなプログラムを導入する必要性がない |
| 5. その他（ |
| ） |

F. プログラムの改定、開発に向けての御意見・御提案についてうかがいます。

問F-1 今後、国においてもプログラムの改定、開発を行う予定ですが、改定、開発に向けて御意見・御提案がありましたら、回答番号欄に具体的に記載してください。

ご協力ありがとうございました。

児童館利用に関するアンケート

問1 このアンケートが配られた児童館名を記入してください。

児童館名：

問2 あなたの子どもの学年を教えてください。

A. 乳幼児 B. 小学校1年～3年 C. 小学校4年～6年 D. 中学生 E. 高校生

問3 あなた又はあなたの子どもは児童館をどのくらい利用しますか。

A. ほぼ毎日 B. 週に何回か C. 月に何回か D. 年に数回

問4 あなた又はあなたの子どもは、これまでに児童館の行事やイベントに参加したことがありますか。

A. 有 B. 無

以下、問4で「A. 有」とお答えいただいた方は問5～11について、「B. 無」とお答えいただいた方は問9～11についてご回答ください。

問5 あなた又はあなたの子どもが参加した遊びや活動のプログラムの名称をご記入ください。

(あなたが参加したプログラム)

(あなたの子どもが参加したプログラム)

問6 あなたが参加したプログラムについておたずねします。

① なぜそのプログラムに参加したのですか。当てはまるものに○をつけてください。また、Eを選択した場合には、括弧内に具体的に記入してください。

- A. 内容に興味があったため
 B. 保護者仲間からお誘いがあったため
 C. 今後の子育ての参考になると思ったため
 D. 同世代の子どもを持つ親と情報交換をしたいと思ったため
 E. その他 ()

② プログラムに参加してよかった点について、当てはまるものに○をつけてください。また、Eを選択した場合には、括弧内に具体的に記入してください。

- A. 今後の子育てに対する不安が軽減された
 B. 同世代の子どもを持つ親と知り合い、交流でき、様々な情報が得られた
 C. 気分転換になり、子どもとの関係をより良好に保てるようになった
 D. 子ども家庭ではみられない一面を知ることができた
 E. その他 ()

問7 あなたの子どもが参加したプログラムについておたずねします。

① なぜそのプログラムに参加した(させた)のですか。当てはまるものに○をつけてください。また、Eを選択した場合には、括弧内に具体的に記入してください。

- A. 子どもが参加したいと言ったため
 B. 児童館なら安全・安心に遊ばせることができ、参加費もかからないため
 C. ほかの子どもたちとの関わりをもたせたかったため
 D. 参加することで子どもの成長・発達を期待したため
 E. その他 ()

② プログラムに参加したあなたの子どもの反応はどのようなものでしたか。当てはまるものに○をつけてください。また、Eを選択した場合には、括弧内に具体的に記入してください。

- A. 自発的にプログラムに参加していた
- B. 楽しみながら、真剣に取り組んでいる様子であった
- C. 児童館以外の場所（自宅など）でも、同じ遊びをするようになった
- D. また参加したいと言っていた
- E. その他（)

③ プログラムに参加させてよかった点について、当てはまるものに○をつけてください。また、Eを選択した場合には、括弧内に具体的に記入してください。

- A. 他の行事等にも積極的に参加するようになった
- B. 日常生活において基本的なルールを守るようになった
- C. 困っている仲間の手を差し伸べられるようになった
- D. 児童館の職員とより親しく話すようになった
- E. その他（)

問8 あなた又はあなたの子どもが参加したプログラムで、改善した方がいい点について、当てはまるものに○をつけてください。また、Eを選択した場合には、括弧内に具体的に記入してください。

- A. 参加者がもっと主体的に関われるようにした方がよい
- B. 参加者同士がもっと話せる時間を作った方がよい
- C. プログラムを実施する際に、子どもから意見を聞いた方がよい
- D. 毎回同じような内容なのでもっと工夫した方がよい
- E. その他（)

問9 今後、どのようなプログラムがあれば参加したい又は参加させたいと思いますか。当てはまるものに○をつけてください。また、括弧内に具体的に記入してください。

- A. あなたが参加するプログラム（)
- B. あなたの子どもが参加するプログラム（)
- C. あなたとあなたの子どもが参加するプログラム（)

問10 あなた又はあなたの子どもにとって、児童館はどのような存在ですか。

問11 児童館に対してご要望やご意見がありましたらご記入ください。

児童館利用に関するアンケート

問1 このアンケートが配られた児童館名を教えてください。

児童館名：

問2 あなたの学年を教えてください。

- A. 小学校1年 B. 小学校2年 C. 小学校3年 D. 小学校4年
E. 小学校5年 F. 小学校6年 G. 中学生 H. 高校生

問3 あなたは児童館をどのくらい利用しますか。

- A. ほぼ毎日 B. 週に何回か C. 月に何回か D. 年に数回

問4 あなたが児童館を利用する理由を教えてください。

- A. 楽しいから B. すきな職員がいるから C. 友達がいるから
D. 遊べるから E. 暇だから F. その他（ ）

問5 あなたは、児童館の行事やイベントに参加したことがありますか。

- A. ある B. ない

問5で「A. ある」を選んだ人は問6～10について、「B. ない」を選んだ人は問8～10について答えてください。

問6 あなたが参加した行事やイベントの名前を教えてください。

問7 あなたが参加した行事やイベントについて教えてください。

① なぜその行事やイベントに参加したのですか。当てはまるものに○をつけてください。また、Eを選んだ人は、その内容を書いてください。

- A. 楽しそうだったから
B. 友達に参加する（している）から
C. 新しい友達を作りたいと思ったから
D. 児童館の職員から誘われたから
E. その他（ ）

② 参加してよかった点について、当てはまるものに○をつけてください。また、Eを選んだ人は、その内容を書いてください。

- A. 遊ぶことが楽しくなった
B. 新しい友達ができ
C. 友達のいいところを見つけることができた
D. これまで知らなかったこと、分からなかったことを新たに発見できた
E. その他（ ）

③ 行 事 や イ ベ ン ト に 参 加 す る 前 と 後 で 、 何 か 変 わ っ た こ と は あ り ま す か 。 当 て は ま る も の に ○ を つ け て く だ さ い 。 ま た 、 E を 選 ん だ 人 は 、 そ の 内 容 を 書 い て く だ さ い 。

- A. 他 の 行 事 や イ ベ ン ト に 積 極 的 に 参 加 す る よ う に な っ た
- B. ルール を 守 っ て 遊 べ る よ う に な っ た
- C. 困 っ て い る 友 達 を 助 け て あ げ た り 、 困 っ て い る と き 友 達 が 助 け て く れ る よ う に な っ た
- D. 児 童 館 の 職 員 と 何 で も 話 せ る よ う に な っ た
- E. そ の 他 ()

④ あ な た が 参 加 し た 行 事 や イ ベ ン ト で 、 こ う し た ら も っ と よ く な る と 思 う こ と に つ い て 、 当 て は ま る も の に ○ を つ け て く だ さ い 。 ま た 、 E を 選 ん だ 人 は 、 そ の 内 容 を 書 い て く だ さ い 。

- A. も っ と 自 分 達 が 中 心 と な っ て 参 加 で き た 方 が よ い
- B. 友 達 と も っ と 話 せ る 時 間 が あ っ た 方 が よ い
- C. 行 事 や イ ベ ン ト を 始 め る 前 に 自 分 達 の 意 見 を 聞 い て ほ し い
- D. 毎 回 同 じ よ う な 内 容 な の で や り 方 を 変 え た 方 が よ い
- E. そ の 他 ()

問 8 今 後 、 ど の よ う な 行 事 や イ ベ ン ト が あ れ ば ま た 参 加 し た い と 思 い ま す か 。 当 て は ま る も の に ○ を つ け て く だ さ い 。 ま た 、 そ の 内 容 も 書 い て く だ さ い 。

- A. あ な た が 参 加 す る プ ロ グ ラ ム
 - a. 身 体 を 動 か す 遊 び ()
 - b. 作 っ た り 描 い た り す る 遊 び ()
 - c. 楽 器 遊 び ()
 - d. 外 遊 び ・ 自 然 遊 び ()
 - e. そ の 他 ()
- B. あ な た が あ な た の 家 族 と 一 緒 に 参 加 す る プ ロ グ ラ ム ()

問 9 あ な た に と っ て 、 児 童 館 の い い と ころ や 好 き な と ころ は 何 で す か 。

問 10 児 童 館 に 対 し て 、 こ う し て ほ し い と 思 う こ と が あ っ た ら 教 え て く だ さ い 。

ご 協 力 あ り が と う ご ざ い ま し た 。